

令和 6 年度(2024 年度)事業報告

京都私学振興会は、1963 年(昭和 38 年)5 月に設立して以来、半世紀以上の永きに亘って府内の私学の振興と教職員の福利の向上のため、多大の貢献を果たしてまいりました。昨年度には設立 60 周年記念式典の開催を挙行了したところです。

令和 6 年度も、年度当初に定めた事業計画に基づき下記の諸事業を遂行して私学の振興発展に寄与しました。

事業の状況

[1] 私学教育充実助成金交付事業

私学関係団体の事業活動を資金面より支援する私学教育充実助成金交付事業は、私学の振興発展を目的とする当振興会にとって最も重要な事業です。

当年度も各団体より提出された申請書について助成金査定委員会において慎重な査定が行われた後その答申に基づき、理事会の議を経て 4 月 10 日に下記の 6 団体に助成金を交付しました。

京都府私立中学高等学校連合会	45,000,000 円
京都府私立中学高等学校経営者協会	4,500,000 円
京都府私立中学高等学校保護者会連合会	3,300,000 円
京都府私立幼稚園連盟	35,400,000 円
京都府専修学校各種学校協会	12,000,000 円
京都府私立小学校連合会	7,000,000 円
合 計	<u>107,200,000 円</u>

7 月 8 日に助成金査定委員会を開催して、各私学関係団体の前年度の助成金の使用状況を検証した結果、当振興会が交付した助成金が各私学関係団体において私学教育の充実のために適正に使われたことを確認しました。

[2] 顕彰奨学金事業

当振興会の顕彰奨学金制度は、平成 18 年に創設して以来 19 年目を迎え、これまでに多くの私学関係者に京都私学振興会賞を授賞して、私学の教育・文化・スポーツの振興に多大の貢献を果たしてまいりました。

当年度も各学校より提出された受賞候補者について審査委員会(門川大作委員長)において慎重な審査が行われ、優れた成果を挙げた教員・クラブ・生徒に京都私学振興会賞を授賞し、併せて学費支弁者を病気等で亡くし修学の継続が困難となった生徒に奨学金を給付しました。

授賞式は新装なった京都私学会館地階大ホールにおいて 6 月 9 日(日)に盛大に挙
行いたしました。

【各賞の受賞者】

特別賞(永年広く私学の振興発展に貢献された人物)	2 名
私学振興賞Ⅰ(教育・研究・指導面で顕著な成果を挙げた教員)	2 名
私学振興賞Ⅱ(特色ある教育計画を実施している学校)	6 園校
文化スポーツ活動賞Ⅰ(全国優勝又は準ずる成績を挙げたクラブ)	17 クラブ
文化スポーツ活動賞Ⅱ(全国優勝又は準ずる成績を挙げた生徒)	16 名
教育研究奨励金(日々教育活動に精励している教員・グループ)	2 名 1 グループ
奨 学 金 (学費支弁者の死去等により就学困難となった生徒)	10 名
京都私学振興会賞交付額	9,200,000 円
京都私学振興会奨学金交付額	3,416,000 円

[3] 会館事業

京都私学会館は、私学関係団体に事務室を貸与すると共に、私学関係者の教育研
修の場として会議・研修・講演会等の用に供すると共に、併せて一般利用者の会議
等の用にも供しています。

ここ数年の間に施設設備の充実工事を実施し、地階大会議室から 4 階までの冷暖
房空調設備の更新工事を施工するとともに、併せて除菌に優れた空気清浄機を設置
してウィルス対策を講じています。また、近年の高度に進んだ I T 時代にも対応で
きる高速ネットを導入しています。

京都私学会館は、ほぼ全館の工事が完了した状態で、美しい外観と最新の施設設
備を備えた素晴らしい会館に生まれ変わっています。

当会館では新装なった私学会館のパンフレットを配布して、一般利用者の利用を
促進しています。

[4] 教職員福利厚生事業

教職員の福利厚生の実施は私学教育にとって重要であるため、当振興会は京都私
学互助会を組織して、教職員とその家族に対し様々な福利厚生事業を行っています。
当年度も医療・慶弔・退会一時金等の給付事業や貸付金事業を確実に実施しました。

なお、会員に映画・演劇・各種イベントなど入場料金を補助する厚生文化事業は、
映画鑑賞券の割引販売する補助のほか、初めての試みとして施設等利用の申請型補
助方法を実施し好評を得ました。

	(令和 5 年度)	(令和 6 年度)
医療・慶弔給付	8,401 千円	7,449 千円
退会一時金給付	14,647 千円	11,333 千円
貸 付 金	1,400 千円	500 千円

[5] 教育機器の寄贈

府内の全ての私立幼稚園・私立小学校・私立中学校・私立高等学校、専修各種学校及び私学関係団体に、下記の教育機器を寄贈しました。

寄贈品目	・・・	A E D（自動体外式除細動器）			
寄贈対象	・・・	私立幼稚園	115 園	私立小学校	5 校
		私立中学校	23 校	私立高等学校	34 校
		専修各種学校	35 校	私学関係団体	2 団体(3 台)
				合計	215 台

寄贈事業費 45,936,960 円

[6] 評議員の改選

評議員の任期満了に伴い、令和 6 年 6 月 17 日開催の評議員会に於いて下記の方々が選任されました。

任期は、2024 年 6 月～2028 年 3 月決算に関する定時評議員会終結の時まで

評議員 15 名

栗 本 嘉 子	(重 任)
兒 島 裕 之	(就 任)
角 田 良 平	(重 任)
中 西 紳 也	(重 任)
福 家 崇 明	(就 任)
大 橋 弘 典	(就 任)
野 波 雅 紀	(就 任)
松 本 行 司	(重 任)
加 藤 俊 明	(就 任)
三 田 清 栄	(重 任)
土 屋 誠 司	(就 任)
ロハス 亜紀	(就 任)
草 野 功 一	(重 任)
茂 山 忠三郎	(就 任)
山崎 ふさ子	(重 任)

[7] 消防訓練の実施

近年東北地方や北陸地方でも大規模な地震が発生して大きな被害が発生しています。大地震となる南海トラフ地震は、ここ 30 年以内に 70%以上の発生率と言われています。京都私学会館もいつ何時大災害に遭遇するかも知れませんが、かねてより防災備品を備蓄していますが、いざと言う時に対応できなければ意味がありません。

そこで、8 月 28 日に菅恭弘防火管理者により各私学団体の火元責任者や館内設備管理会社を招集し防火連絡会を開催し防火防災について協議しました。

また、下記の日程で京都私学会館内に勤務する全職員が参加する防火訓練を実施しました。

日 時 10 月 28 日(月)午前 9 時 30 分～午前 11 時

参加者 京都私学会館に勤務する全職員及び協栄ビル管理職員

訓 練 講演・消火訓練・通報訓練・避難誘導訓練・講評

私学会館内に勤務する 22 名が参加し、それぞれの役割分担を定めて、私学会館に実際に火災が発生した場合を想定した実践的な訓練を実施。

[8] 公益法人定期提出書類の提出

公益法人は毎年 3 月末までに翌年度の事業計画及び予算を、6 月末日までに前年度の事業報告・決算・理事監事評議員名簿、その他の法人の状況を、監督官庁である京都府に報告することとされており、期限内に電子申請にて提出しました。

[9] 全国私学振興会連合会総会

令和 6 年度全国私学振興会連合会の総会が 7 月 14 日に群馬県にて開催され、菅事務局長が参加して、全国各地の私学振興会担当者と法人の運営等について意見交換しました。

[10] 情報の公開

公益法人は、業務運営の透明化と適切化を図るため諸情報の公開が求められています。当振興会では、公益法人に関する法律に基づき定款・役員報酬規程・役員名簿・予算書・決算書等の書類を事務所に備えて開示すると共に、インターネット上に京都私学振興会と京都私学会館の 2 サイトのホームページを設けて、充実した情報を広く一般に公開しています。

京都私学振興会 <http://www.kyt-shigakusinnkoukai.jp>

京都私学会館 <http://www.kyt-shigakukaikan.or.jp>

[11] 理事会等の開催・役員等名簿

理事会・評議員会・各委員会の開催状況、各事業の詳細、及び理事・監事・評議員・各委員会委員の名簿は、後掲の附属明細書Ⅰ～Ⅴに記載の通りです。

[12] 令和 6 年度の収支決算状況

令和 6 年度の収支決算の状況は、別添の貸借対照表・正味財産増減計算書・同内訳表・収支計算書・財務諸表に関する注記・財産目録に記載の通りです。

なお、令和 7 年度私学教育充実助成金交付事業費の一部を特定費用準備資金として計上しています。